

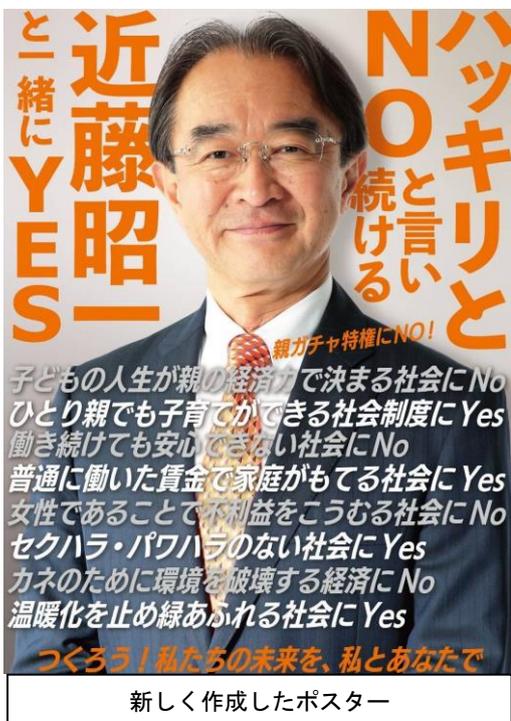
立憲民主

The Constitutional Democratic Press

2023年9月4日発行
号外
3区総支部版
9・10月号
第18号
(通算第183号)

愛知3区(昭河区・緑区・天白区)地域版
連絡先: 立憲民主党愛知県第3区総支部
総支部長 近藤昭一
〒468-0058 名古屋市天白区植田西3-1207
TEL:052-808-1181 FAX:052-800-2371
<http://www.kon-chan.org>

問題にはハッキリとNOと言い 進めるべきことを皆さんと一緒に進めます!



新しく作成したポスター

6月21日に国会が閉会しました。この間、政府与党は衆参それぞれ2回ずつの閉会中審査を行ったのみです。しかもそのうち一回ずつは災害対策特別委員会でした。山積する課題にどう向き合っていくか、近藤昭一議員に今後の抱負を語ってまいります。

拝啓 いつも会報を読んでいただき、ありがとうございます。まだまだ暑い日が続いています。また、新型コロナウイルスも第5類に移行されましたが、地域によって、病院の状況が切迫しています。皆さんくれぐれも気をつけていただきたいと思います。

国会が閉会して既に二ヶ月以上が経過しました。この間、ガソリンの値段は最高値を更新し、国民生活を圧迫しています。私たち野党は緊急事態対応を政府に要請するとともに、山積する諸課題に対応するため、国会開催を求めています。また、党として閉会中も積極的に省庁ヒアリング等を実施し課題解決のために努力しています。

9月1日は、関東大震災から100年という節目の日でした。犠牲者にあらためて哀悼の意を表します。また、この地域にも、30

年以内に必ず南海トラフ大地震が来ると予測されています。政治の役割は命を守ることです。しっかり対策をしていかなければなりません。

ところで、8月24日、東電福島第一原発事故後の汚染水を処理し海洋放出する作業が始まりました。国際環境団体 FoE Japan が主催したヒアリングでは、海洋放出の費用等が2018年当時に算出された数値を大幅に上回り、当初17~34億円、期間は52~88ヶ月とされていたものが、1200億円以上すなわち35倍以上となることが明らかにされました。今あるタンク分だけで30年、今後、廃炉作業が完了するまで更に何年要するのかわかりません。何より、この放出する水は、核燃料が溶け落ちたデブリを通過した水であり、通常原発処理水とは異なります。海洋放出という手段は取るべきではなく、あくまでも他の方策(かつて経産省内でも検討された「モルタル固化」等の代替案)を追求すべきです。拡散ではなく、閉じ込めることこそ、放射性物質処理の原則です。今後の風評被害対策費用は政府、賠償は東電が負担することになるのですが、それらは税による国民負担と電力料金に跳ね返ってくるわけです。先の通常国会で、岸田政権は原発推進に改めて舵を切りました。全く反省なき政策変更です。

なお、8月27日投開票の行われた長久手市長選挙で、佐藤ゆみさんが当選しました。愛知県初の女性首長です。私も、出発式で応援のマイクを握らせていただきました。地元の大島れい子市議や、「女性議会ネット」の白井えりこ日進市議始め多くの女性議員や、市民の皆さんの手弁当での選挙の成果だと思います。ご本人が「スタートラインに立てた」と言うように、一つの壁を破ったと思います。長久手市を良くし、あらゆるところにいい刺激をもたらしてくれると思います。 敬具

2023年9月4日

衆議院議員 近藤昭一

衆議院議員 近藤昭一 1958年、名古屋出身。千種高校、上智大学卒。中日新聞社を経て、1996年衆議院議員初当選後、9期連続当選。環境副大臣、立憲民主党副代表等を歴任。現在、党ネクスト環境大臣、立憲フォーラム代表、原発ゼロ・再エネ10の会共同代表、交運労協政策推進議員懇談会会長等。

二度と戦争をしてはならない 改めて平和を誓う8月

8月は、広島に原爆が投下された6日、長崎に原爆が投下された9日、ポツダム宣言受諾と日本の降伏が国民に公表された15日と、戦争に関わる重要な日が重なります。

●8月26日、4年ぶりに「平和を考える映画会」を開催しました。作品は、「ペーパーシティ」、東京の4分の1が焼失した大空襲から生還した3名の生存者が、自らの戦争体験を語ります。国会には空襲被害者について立法



措置による解決を考える議員連盟(超党派空襲議連)があります。民間被害者は国との雇用関係がなかったということで救済されていませんが、空襲による火災の消火作業などに国が動員し、多くの人が命を失い、人生を翻弄されました。この映画には、名古屋在住で2016年に101才で亡くなられた元全傷連会長杉山千佐子さんとともに、空襲議連で副会長を務める私も登場しています。

●8月6日、広島市で開かれた平和記念式典、松井一実市長は平和宣言で、政府に対し、核保有国と非保有国の橋渡し役を果たすよう求め、一刻も早く核兵器禁止条約の締約国となること、今年11月の第2回締約国会議にオブザーバー参加することを求めました。8月9日、長崎市での平和祈念式典は台風接近にともない規模を縮小して行われました。鈴木史朗市長にとって、就任後初の平和宣言でしたが、5月に開かれた先進7カ国首脳会議(G7広島サミット)の核軍縮文書「広島ビジョン」を批判し「核抑止への依存からの脱却を勇気を持って決断すべきだ」と訴え、核兵器廃絶の決意と「長崎を最後の被爆地に」という強いメッセージを国内外に発信しました。

●本年5月の広島サミット、唯一の戦争被爆国で開催されたにも関わらず、まとめられた「広島ビジョン」は、「核の抑止力」を前提とし、核兵器禁止条約には全く触れず、被爆者の皆さんの失望をかいました。原爆資料館で何を見学し、各国首脳がどんな感想を持ったのか、(記帳した際に添えた言葉は公開されましたが)、被爆者とのような対話をしたのかも、公表されませんでした。二人の市長は、せっかく広島でサミットが行われ、「広島ビジョン」が発表され

たにも関わらず、それが核抑止を前提としていることの問題点をともに指摘したのです。



●8月15日、私は恒例の千島ヶ淵戦没者墓苑での「平和を誓う8.15集会」に参加し

ました。二度と戦争を起こしてはならない。党を代表して、泉代表の談話を代読しましたが、戦争の悲惨さを忘れてはならない。きちんと伝えていかなければならないと誓いました。ところで、8月11日、2022年度高校生平和大使のお一人から手紙をもらいました。京都に住む友人の娘さんです。昨年度の国連訪問はコロナのために中止になったが、今回2023年度のメンバーの翻訳補助の役割で訪問することになったという内容でした。頑張ってきてほしいです。「高校生平和大使」は1998年、インドとパキスタンが実施した核実験をきっかけに長崎で誕生し、核兵器廃絶を求める署名簿を、ニューヨークの国連本部に届けたのが始まりです。以来25年、高校生平和大使の訪問先は2000年から国連の欧州本部に変わり、署名は同本部に保管されています。「微力だけど無力ではない」を合言葉に、集めた署名は250万筆を超えました。長年の活動が評価され、2018年から毎年ノーベル平和賞候補に推薦されています。その推薦には、私も関わっています。

●ロシアがウクライナに侵攻し、「核兵器が使われ



る」危機感がこれまでになく高まっています。絶対に「核」を使用しないためには、

「核兵器」をなくすしかありません。そのために、戦争の記憶は風化させてはいけない、記録はきちんと伝えていかなければなりません。また、向き合っていかなければなりません。100年前の関東大震災の際に起こった朝鮮人、中国人、社会主義者、障がい者の人たちが殺害された歴史の事実にも政府は向き合っていないのです。国家主義に対する警戒を忘れてはなりません。全ての世代の皆さんと連帯して頑張ってください。

国会閉会中も重要案件をヒアリング・議論

6月21日に通常国会が閉会してからも、立憲民主党ではオンラインも含め、ヒアリングや議論を行っています。

「旧統一教会」関連では、「被害者対策本部」と「国会対策本部」において、被害者の方や支援する弁護士さんからのヒアリングや省庁との意見交換を行っており、7月11日の会合でも、鈴木エイトさんから旧統一教会に関する最新の状況をお聞きしました。被害者救済新法は出来ましたが、状況は改善されていません。それどころか、旧統一教会被害に関する報道は大幅に減り、被害の凄惨さ、政治家との癒着、解散命令請求の可否、など課題は残ったままです。

「マイナ保険証」国対ヒアリングは、閉会后、8月末までに9回のヒアリングが開催されました。8月25日に開催されたヒアリングでは、マイナ保険証で、約77万人のデータのひもづけがされずに利用できない状態になっていることが明らかになったにもかかわらず、政府は来秋に健康保険証を廃止する方針を変更せず、「資格確認書」を発行するとしています。マイナ保険証を持たない人も安心の医療が受けられるよう、今の健康保険証を守らなければなりません。この他、「マイナ保険証」については、「在り方検討PT」を立ち上げるなど、真に国民の皆さんの安心に繋がる制度を確立するため頑張っています。

子どもたちのアジア連合キャンプin青森



第21回「KID'S AU=子どもたちのアジア連合 子ども交流・野外キャンプ」に二日間参加しました。第1回から関わっていますが、「大人は争いばかりしている。未来に向けて平和の種を蒔こう！」と、ロシア、中国、モンゴル、韓国、北朝鮮、日本の6カ国の子どもを招き、野外活動する交流を始めました。言葉が通じなくとも、子どもたちは、見事に仲間となっていくます。

コロナによる中断もありますが、2001年から数えて、2,000人以上の子どもたちが参加しています。子ども

たちの自主性を大切にしながら、全員が交流できるようにしています。今回は、青森山田学園の全面的なご協力のもと、愛知商工連盟協同組合等いくつかの企業・団体が支援してくださいました。また、この間の食事について提供してくださったのは地元のボランティアさんでした。無農薬、有機栽培で、食の安全を守るために活動しておられます。素晴らしくおいしかったです。

なお、6カ国といっても、北朝鮮からの子どもの参加は実現していませんし、今年は、諸事情で、モンゴル、韓国、日本の3カ国の子どものみになってしまいました。そして、今回、異常な暑さにみまわれましたが、通常あり得ない暑さのため、施設にはエアコンがありません。関係者が急遽扇風機をかき集めてくださいましたが、気候変動の影響を厳しく受ける暑さでした。これらは、大人たちの責任によるものです。真に豊かで平和な社会にしていきたいです。

メーソットでミャンマー避難民支援を視察

8月27日からタイを訪問しました。バンコクから車で7時間ほどのミャンマーとの国境に近いメーソットという町でした。国会でミャンマーの民主化を支援する超党派の議連に所属していますが、私たちは、当然、軍事クーデターに反対しており、ODA等を通して軍に対して影響力を持つ日本政府が、なぜ、きちんと行動しないのかと要求してきました。今回は、かつてILO（国際労働機関）で働いていた石橋みちひろ参院議員（議連事務局長）と一緒に、国境近くに避難しているミャンマーの人たちの状況視察に入りました。現地では、ミャンマーから避難してくる人たちへの支援や、ミャンマー側のIDP（国内避難民）キャンプへの国境越えの支援を懸命に続けている国際NGOの皆さんたち、タイ側にコミュニティをつくり避難してくる人たちを支援する同胞の皆さんたちに、視察のサポートをしていただきました。特に、避難民への医療支援をしているメータオ・クリニックの日本人医師の有高さんには、格別お世話になりました。皆さんは、たくましく生きているとはいえ、厳しい生活環境であるだけでなく、子どもたちの学習環境は、かなり制限があります。今回、そうした状況下で活動する皆さんをどう支えていくのかを確認するというのが役割でした。子どもたちの未来を守り、一人ひとりの尊厳を守り、一日も早くミャンマーに平和が訪れ、民主化が進むことを望み、そのために頑張りたいと思います。

◇近藤議員の国会内外での主な活動報告(7月～8月)



7月1日、共同代表を務めるリベラル政治懇話会主催の勉強会。白井えりこ日進市議の講演。日進市議会では女性議員が半数となる。



7月15日、第79回現展名古屋展。友人の水上卓哉さんと。また、8月には創画会中部研究会展で友人の田内公望さんの作品も鑑賞。



7月16日、第34回愛知サマーセミナー2023。様々なジャンルの講師による講座がありました。この日は小林節先生の講座を聞く。



7月23日、第41回昭区和福祉まつり。地元の谷口ともみ県議、おくむら文悟市議、昭区和マスコットのショウちゃんと記念撮影。



7月28日、名古屋シネマテーク閉館。社会の奥深さを教えてくれる映画を紹介してくれる素晴らしい映画館でした。



8月1日、第23回あいち境界シンポジウム(愛知県土地家屋調査士政治連盟主催)。名大名誉教授の福和伸夫先生の講演を聞く。



8月6日、天白・自然とふれあい隊～川の生き物を観察しよう～。親子連れで川に入り、生き物を観察。暑い中の開催、関係者の皆さんに感謝。



8月10日、名古屋野宿者追悼集会2023。この1年間に亡くなられた野宿者の方々の追悼を行う。



8月20日、長久手市長選挙告示日。友人である佐藤ゆみさんの出発式に参加し、応援の挨拶。見事当選し、愛知発の女性首長が誕生！

第25回立憲カフェ開催決定！

2016年から不定期で行ってきた、ざっくばらんに皆様とお話したいということで始まった「立憲カフェ」もおかげさまで第25回目を迎えることとなりました。そこで、今回は第25回特別編として講演&お話し会を開催させていただきます。どなたでも参加可能です。お気軽に近藤昭一事務所までお問合せ下さい。

とき 10月7日(土) 14:00～15:30

ところ 天白スポーツセンター 会議室
天白区植田3丁目1502番地

党員・協力党員(党サポーターズ) こんちゃんサポーター募集中！

10月1日より2023年度後期の党員、協力党員の募集が開始されます。立憲民主党は皆さんとともにあります。ともに立憲民主党を支えて下さる方大募集中！詳細は、近藤昭一事務所まで。

衆議院議員 近藤昭一事務所

名古屋市天白区植田西3-1207 TEL: 052-808-1181 FAX: 052-800-2371 Email: konchan@kon-chan.jp
法律相談受付中！詳細は近藤昭一事務所まで！

近藤昭一公式ライン登録のお願い

右のQRコードを、スマホで読み取ってください。ご登録いただくと各種情報をお届けします。



近藤昭一議員の最新情報を各種SNSで発信中！
右記QRコードから →



近藤昭一のホームページをリニューアルしました。ぜひご覧ください。

<https://www.kon-chan.org/>